

# 編修趣意書

## (教育基本法との対照表)

| 受理番号      | 学校        | 教科                 | 種目 | 学年   |
|-----------|-----------|--------------------|----|------|
| 104-176   | 小学校       | 外国語科               | 英語 | 第6学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名               |    |      |
| 17 教出     | 英語 615    | ONE WORLD Smiles 6 |    |      |

### 1. 編修の基本方針

## 「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

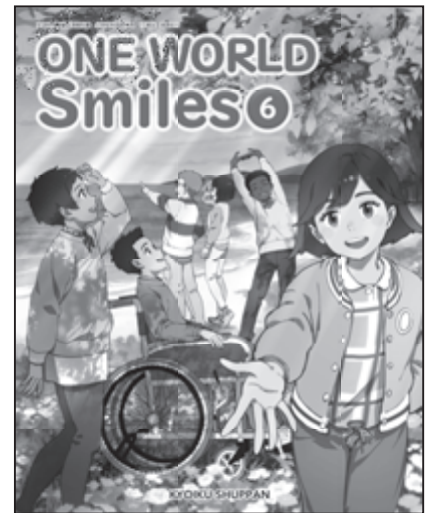
## 英語で思いを伝え合う

英語でのコミュニケーションを楽しみます。

子どもたちは自分の思いを伝え合い、

世界がひとつであることを感じ、

教室が子どもたちの笑顔でいっぱいになります。



特色  
1



### 英語を楽しく学ぶ

シンプルな紙面と単元構成で学習の流れがわかり、  
学校生活に合ったテーマや活動で、**楽しみながら**学べます。無理のないインプットから徐々にアウトプットにつなげます。

特色  
2



### 英語で伝え合い、笑顔になる

わかりやすい活動で、「わかった」「できた」を**実感**しながら英語の力が身につきます。わかりやすい活動や友達と学び合う活動で、たくさんの笑顔につなげます。

特色  
3

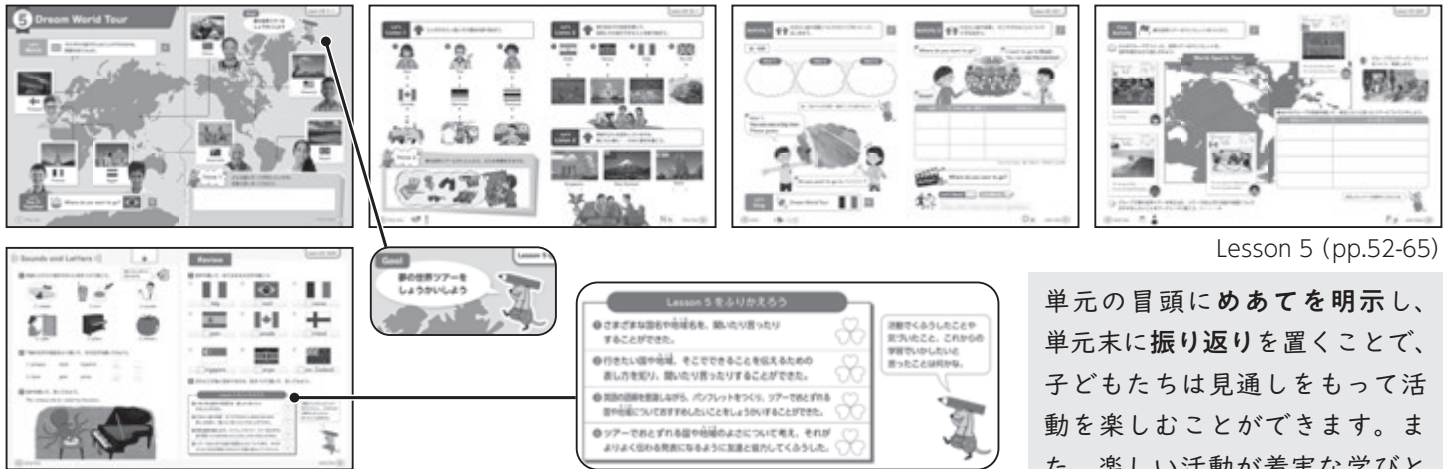
### デジタルコンテンツで英語の学びを支える

二次元コードから**豊富な動画や音声**にアクセスでき、いつでもどこでも**繰り返し**英語にふれられます。デジタルコンテンツを使いながら英語に慣れ親しみ、**理解を深め、もっと「知りたい」「学びたい」という意欲**につなげます。



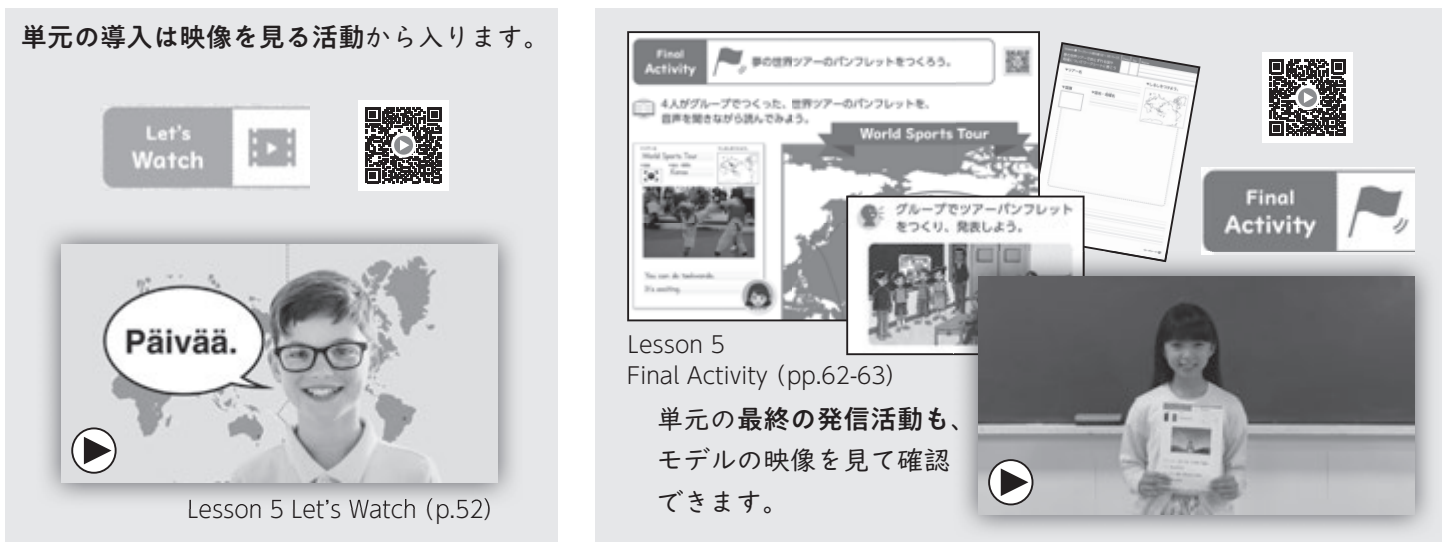
① シンプルな紙面と単元構成で、学習の流れがわかり、楽しく学べます。

単元ごとに、4技能5領域の活動を、わかりやすく配置しています。見る、聞く、リズムにのって口慣らしをする、歌うなどの楽しい活動を通して英語に十分に慣れ親しみ、話す（やり取り、発表）・書く活動へつなげます。



② 無理のない導入と、わかりやすい活動で、楽しく学べます。

単元の導入は映像を見る活動から入ります。



③ 学校生活に合ったテーマや活動だから、楽しく学べます。



## ① わかりやすく、思いを伝えたい活動で、笑顔をつくります。



Lesson 1 Final Activity (p.17)

やり取りや発表の様子がわかりやすいイラストと、モデルの音声や映像を用意しています。自信をもって活動ができます。



Lesson 7 Final Activity (p.84)

子どもたちが思わず言いたくなる、やってみたくなるような教材や活動を用意しています。

## ② 気づきや思考を促し、思考や関わり合いを深め、笑顔を引き出します。

言語や文化、コミュニケーションなどについて、気づきや思考を促します。



ペアやグループの活動を多く設けることにより、自分を大切にしつつ、相手を尊重する心を育みます。

Lesson 7 Activity 1 (p.82)

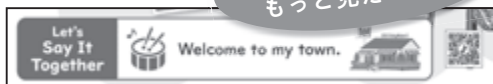
## ① 動画や音声などの豊富なコンテンツで、学びの機会を増やします。

映像や音声をウェブサイトで見ることができます。

各活動やページに掲載の二次元コードをタブレット PC のカメラ等で読み込むことで、繰り返し映像を見たり、音声を聞いたりすることができます。



(p.12)



(p.20)

豊富なコンテンツで深く学べます。「もっと見たい、聞きたい」から、「学びたい、話したい、発表したい」につながります。



Lesson 1 Final Activity (pp.16-17)

みんなで確かめたい！  
自分のペースで確かめたい！

## ② 「まなびリンク」は、さまざまな学習を支援します。



(<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link24/eigo/6nen/index.html>)



協働学習で



個別学習で



家庭学習で

学習に役立つ情報を集めた、安心できる当社のウェブサイトです。

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容                     | 特に意を用いた点と特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 該当箇所                                                                                                                            |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Classroom English            | 幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うために、授業や校内で使う表現に触れ、他者への配慮を促し、円滑なコミュニケーションを図れるようにしています。【第1号】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | p.4                                                                                                                             |
| Let's Start Together 1, 2    | 幅広い知識と教養を身につけるために、5年生までの「外国語活動」「外国語」を振り返り、言葉を学び、使ってみることの楽しさを再確認しながら、前向きに英語学習に取り組めるようにしています。【第1号】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | pp.6-9                                                                                                                          |
| Lesson 1～8                   | <p>①自分の誕生日、好きなこと、できることを整理し、「This is me! シート」を作って自己紹介する活動を通して、個人の価値を大切に、豊かな創造性を培えるようにしています。【第2号】</p> <p>②自分たちの住む町のよいところを見つけ、伝え合い、自分のおすすめの場所を紹介する活動を通して、社会の発展に寄与する態度と自然を大切に作る態度、郷土を愛する心を育みます。【第3、4、5号】</p> <p>③日本の行事や文化について伝え合い、また日本の何が好きなのかをたずね合い、日本のよさを見つけ、外国の人に紹介する活動を通して、日本の伝統と文化を尊重し、わが国と郷土を愛する心を育みます。【第5号】</p> <p>④夏休みの思い出をたずね合い、自分の思い出を絵日記にして伝える活動を通して、豊かな情操を培うとともに、自他を敬愛する気持ちを高められるようにします。【第1、2号】</p> <p>⑤行きたい国とそこでしたいことについてたずね合い、夢の世界旅行を紹介する活動を通して、幅広い知識と教養を身につけ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第1、5号】</p> <p>⑥思い出に残っている小学校の学校行事をたずね合い、各自で思い出をシートに書き、クラスの思い出アルバムを作る活動を通して、他者の思いを共有して、豊かな情操を培い、主体的に社会に参画する意識をもてるようにします。【第1、3号】</p> <p>⑦自分の将来の夢を書いて発表し合う活動を通して、将来の職業へ意識を向ける機会を設け、男女の平等や職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養います。【第2、3号】</p> <p>⑧中学で入りたい部活動や楽しみたい学校行事を書き、発表することを通して、中学校生活を前向きに捉え、自主・自律の精神を養い、健やかな身体を養えるようにします。【第1、2号】</p> | <p>pp.10-19</p> <p>pp.20-29</p> <p>pp.30-39</p> <p>pp.42-51</p> <p>pp.52-65</p> <p>pp.70-77</p> <p>pp.78-87</p> <p>pp.88-97</p> |
| Let's Read and Act 1, 2      | <p>①道徳教科書でも取り上げられている作品『およねいりすさん (A Great Idea!)』を通して、他者にやさしく接することの大切さについて考え、豊かな情操と道徳心を養うとともに自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います。【第1、3号】</p> <p>②国語教科書でも取り上げられている作品『おてがみ (The Letter)』を通して、相手の気持ちを想像して、友達と接することの大切さについて考え、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います。【第1、3号】</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>p.40</p> <p>pp.66-69</p>                                                                                                     |
| Let's Look at the World 1, 2 | <p>①幅広い知識と教養を身につけていけるよう、身近な外来語を題材とし、さまざまな外来語の存在に意識を向けさせ、言語の違いについて興味を持たせます。【第1号】</p> <p>②世界の希少動物について掲載し、環境保全、生命愛護の意識を育みます。【第4号】</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>p.41</p> <p>p.98</p>                                                                                                         |
| Let's Enjoy the Music        | 微笑みについての歌“Smile”を鑑賞することで、豊かな情操と道徳心を培うとともに、笑顔でいることのすばらしさを再認識できます。【第1号】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | p.106                                                                                                                           |

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

**注目!** これまでの学習を、楽しく振り返ることから始めます

単元の学習に入る前に、見るだけでも楽しい大きな一枚絵を使った活動を設けました。

絵の中に、中学年、5年で慣れ親しんだ単語やアルファベットが隠れています。

慣れ親しんだ表現を使い、絵探しやクイズを楽しみながら、これまでの学習を楽しく振り返ることができます。



(pp.6-7)

Let's Start Together



(pp.8-9)

## 注目！ 「英語が好き」を中学校につなげます

英語で表現できたことやコミュニケーションを取ることができたことの喜びをもとに、中学校でももっと「学びたい」「使ってみよう」と思えるような活動を用意しています。

### 文法用語を使わずに、文構造への気づきを促す活動



Lesson 6 (p.77)

### 中学校での自己紹介にも役立つ「My Book」づくり



Lesson 8 (p.95)

## 注目！ SDGs に取り組みながら学べます

現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育てることができるよう、専門家による校閲を受け、SDGs（持続可能な開発目標）を意識し、英語を学ぶ見方、考えを養えるようにしました。



Let's Look at the World ①  
いろいろな外来語について (p.41)



Let's Look at the World ②  
絶滅危惧種の動物たちについて (p.98)

## 注目！ 学習を支えるさまざまな配慮

専門家による校閲を受け、人権を尊重し、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

### 人権教育への配慮

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストを含め表現や活動に配慮しました。

### カラーユニバーサルデザインへの配慮

色覚の個人差を問わず、識別しやすい配色を用い、だれにとっても学習しやすい紙面になるように配慮しました。

### 特別支援教育への配慮

シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容がわかりやすくなるように配慮しました。また、紙面の中の視線の移動や各要素の縦横の混在についても、混乱を生じさせないように配慮しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| 受理番号      | 学校        | 教科                 | 種目 | 学年   |
|-----------|-----------|--------------------|----|------|
| 104-176   | 小学校       | 外国語科               | 英語 | 第6学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名               |    |      |
| 17 教出     | 英語 615    | ONE WORLD Smiles 6 |    |      |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色  
I

### 英語を楽しく学ぶ

シンプルな紙面と単元構成で、楽しく学べます。

シンプルな紙面と単元構成で、見る、聞く、リズムにのって口慣らし、歌うなどの慣れ親しむ活動から、話す（やり取り、発表）・書く活動へつなげます。

単元冒頭で  
目標を確認  
します。



単元の導入は映像を見る  
活動から入ります。



Let's Watch

▼ 映像を見て内容をとらえる

Let's Say It Together

Let's Sing

▼ 口慣らしをする

Let's Listen

▼ 聞く

Activity

▼ やり取りをする

Let's Read

Let's Write

▼ 文を読む・書く ※多くの単元で設定

Final Activity

▼ 総合的な発信活動（やり取り／発表）

Sounds and Letters

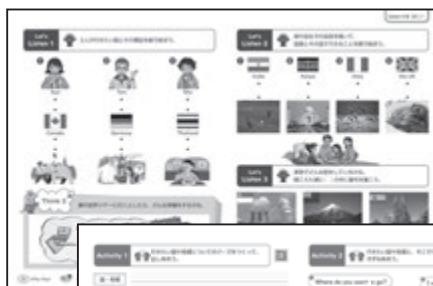
▼ 音声と文字の特徴を学ぶ

Review

Lesson をふりかえろう

活動や学んだことを振り返る

各単元の流れは  
一定です。



まなび  
リンク



動画や音声をウェブ  
サイトで視聴できます。



単元の最終の発信活  
動も、モデルの映像  
を見て確認できます。



学校生活に合ったテーマで、友達とのコミュニケーションを通じて、やさしく無理のないインプットからアウトプットにつなげます。

単元末で  
振り返り  
ます。



Lesson 5 (pp.52-65)

わかりやすい活動を通して、関わり合いを大切にします。

わかりやすい活動で、「やってみたい」思いから「できた」につなげます。友達とのコミュニケーションを通じて、気づきを促し、思考や関わり合いを深めながら学べます。

### ●イメージしやすい活動



Lesson 1 Final Activity (p.17)

やり取りや発表の様子がわかりやすいイラストと、モデルの音声や動画を用意しています。自信をもって活動ができます。

### ●やってみたいくなる活動、マップや絵カード、ワークシートなどが充実

(pp.56-59)



(巻末絵カード)

(巻末ワークシート)

子どもたちが思わず言いたくなる、やってみたいくなるような、表現意欲を高める教材や活動を用意しています。

## 関わり合いを大切にし、伝え合う、認め合う 学びの実感

### ●気づきを促し、思考や関わり合いを深める活動

言語や文化、コミュニケーションなどについて、気づきや思考を促します。

ペアやグループで取り組む活動を多く設けることにより、自分を大切にしつつ、相手を尊重する心を育みます。



Lesson 7 Activity 1 (p.82)



Lesson 6 (p.75)

わかりやすい活動で「できた」に。子どもたちの自尊感情を育て、相手に配慮しながら、よりよい対話を作り上げる姿勢を培います。

## 豊富なコンテンツで、学びの機会を増やします。

単元内の各活動やページに掲載の二次元コードをタブレット・PCのカメラ等で読み込むことにより、動画や音声を繰り返し視聴でき、学びを確かなものにします。



やり取り・発表の映像

リズムに合わせた口慣らし・歌

会話・発表などの音声

資料



(p.12)



(p.20)

もっと聞きたい！  
もっと見たい！



Lesson 1 Final Activity  
(pp.16-17)

みんなで確かめたい！  
自分のペースで確かめたい！



## 未来につなげる学び

### 1. 【協働学習で】

学び合いが活性化します。

### 2. 【個別学習で】

一人一人の理解を深めます。

### 3. 【家庭学習で】

学びたい意欲に応えます。



個別学習で



(<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link24/eigo/6nen/index.html>)

「まなびリンク」は、  
学習に役立つ情報を集めた、安心できる当社のウェブサイトです。

協働学習で



家庭学習で



教科書とデジタルコンテンツをつなげ、  
学びを深めます。そして、子どもたちの  
学びを未来につなげます。

インプットからアウトプットの各活動により、  
個々の学習内容の理解度や定着度の向上が図れ、  
ICTの活用で個に応じた学びができます。

# 検討の観点と内容の特色



| 観点                         | 内容の特色（該当箇所掲載）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. 内容の取り扱い</b>          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 教育基本法との関連                  | 教育基本法第2条（第1号～第5号）を踏まえ、教材の選定・開発をしました。【全体】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 学習指導要領に示された教科の目標を達成するための配慮 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の5つの領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容を選択・配列しました。また、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成」できるように内容を選択・配列しました。【全体】</li> <li>●資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を総合的に育成できるよう、さまざまな言語活動を盛り込み、児童一人一人の「生きる力」の育成に寄与し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫しました。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 自主的・自発的な学習への支援             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●巻頭に教科書への導入として <b>Welcome to（書名）</b> を設け、<b>1年間の学びの見通し</b>をもち、英語学習や英語を通じたコミュニケーションへの期待と意欲を高められるようにしました。【巻頭 Welcome to（書名）】</li> <li>●1年間の<b>学習目標</b>を明確に示したうえで、「あなたが英語でできるようになりたいことを書いてみよう」の欄に自由に書き込ませることにより、児童一人一人の学習意欲を喚起する仕組みを設けました。【p.5】</li> <li>●Lessonの冒頭で<b>単元の目標</b>を確認させることにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっていた姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるように工夫しました。【Lesson〇をふりかえろう】では、CAN-DO 記述文のかたちで、「<b>資質・能力</b>」に基づく振り返りの観点を示し、どの程度達成できたか、児童自身が評価できるようにしました。【各 Lesson】</li> <li>●各 Lesson の<b>自己表現活動</b>に役立つ語彙を巻末に掲載し、必要に応じて参照できるように構成しました。【pp.100-105】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>2. 内容の程度</b>            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 児童の発達段階に適合した内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●年間を通して、言語材料・言語活動のそれぞれについて、<b>発達段階に適合した内容</b>を選択し、配列しました。【全体】</li> <li>●各 Lesson の題材内容については、<b>児童の発達の段階、興味・関心</b>に十分に配慮しました。クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと、単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくように構成しました。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 言語材料の取り上げ方                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●言語材料は、基本的な「音声」、「文字及び符号」、「語、連語及び慣用表現」、「文字及び文構造」を丁寧に取り上げ、学習の進捗や言語活動との関連を踏まえて、バランスよく、段階的に配置しました。語、連語及び慣用表現については、自己表現活動に使えるように、小学生にとって身近なものを選定しました。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 言語活動の取り上げ方                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Lessonは、「<b>知識及び技能</b>」を活用して「<b>思考力・判断力・表現力等</b>」を身につけるための具体的な言語活動となるよう、児童自身の<b>興味・関心や経験等</b>を発信できるように適切に選択しました。【各 Lesson】</li> <li>●言語能力向上の観点から、言葉の仕組みの理解を促せるように活動を設定しました。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 児童の興味・関心に即した題材内容           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>主体的な学び</b>を促進し、<b>対話的な学び</b>へと導くため、児童の興味・関心に合った題材を扱い、題材に則した言語活動を設定しました。【全体】</li> <li>●児童が活動やコラムを通して<b>世界の子どもたちの生活の様子</b>にふれ、<b>異文化</b>に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりしながら、英語学習への意欲を高められるようにしました。【World of Smiles、Let's Look at the World】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 発展的な学習内容                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●巻末の Let's Enjoy the Music に掲載されている歌詞には、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれます。<b>楽曲を聴きながら歌のもつメッセージを鑑賞するための教材</b>であり、英語の歌詞の掲載は有効です。【p.106】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 中学校との接続                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson 4 の中や後半の Lesson 6 ～ 8 の単元末に、文法用語を使わずに、学んできた要素を組み合わせ、<b>文構造</b>への気づきを促す活動を配置しました。【p.46、77、87、97】</li> <li>●最後の単元 Lesson 8 に、<b>これまで学んだこと</b>を使って、自分のことについて<b>書く活動</b>を配置しました。最後の評価に役立つだけでなく、児童が<b>中学校</b>での<b>自己紹介</b>の授業にも活用できるようにしました。【p.95、巻末ワークシート「My Book をつくろう」】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 他教科、道徳等との関連                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>国語科、社会科、道徳、キャリア教育</b>などの関連を図りました。【全体】</li> <li>・国語低学年の定番教材「<b>おてがみ（The Letter）</b>」をもとにした教材を原作のイラストとともに掲載し、物語を英語で読む活動を設けました。<b>豊かな情操と道徳心</b>を培います。また、巻末の「<b>ローマ字表</b>」では、3年生の国語で扱った<b>訓令式</b>での表記も併記しており、安心して活動に取り組めるように配慮しました。【pp.66-69、p.108】</li> <li>・自分の町や日本の行事を紹介したり、「<b>Dream World Tour 名所・名物マップ</b>」を使い世界の国を紹介したりするなど、社会科の学習との関連があります。【Lesson 2、3、5】</li> <li>・道徳の観点から、日本の行事や文化を扱い、<b>伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度</b>を育めるように配慮しました。また、<b>低学年向けの道徳教材『およげないりすさん（A Great Ideal!）</b>」を4コマ漫画にし、イラストとともに英語で掲載し、物語を英語で聞く活動を設けました。【Lesson 3、p.40】</li> <li>・<b>将来の夢</b>等のキャリア教育につながる内容を含めて構成しました。【Lesson 7】</li> <li>●児童一人一人が自己表現したワークシートを発表したり、自分たちの町の観光マップや世界旅行のツアーパンフレットを作ったり、クラスの思い出アルバムを作ったりするなど、グループやクラスで一つの制作物を完成させたりする活動を設け、クラスの一体感につなげる等、<b>学級経営</b>においてもプラスとなるように配慮しました。【各 Lesson】</li> <li>●学校や教室のルールを含む内容を配置しました。【p.4、5】</li> </ul> |
| カリキュラム・マネジメントと短時間学習        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>教科横断的な要素</b>を多く取り扱いました。カリキュラム・マネジメントの観点からも有効です。【全体】</li> <li>●Let's Sing や Let's Say It Together、Let's Listen、Sounds and Letters、Review 等、通常の45分授業との内容的な関連性をもたせながら、<b>10～15分程度で終わらせる活動</b>を設け、短時間学習にも配慮しました。【各 Lesson】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学級担任による授業                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Lessonの冒頭に<b>単元目標</b>を明示し、単元末に児童の<b>振り返り</b>の機会を設け、<b>指導・評価</b>のポイントをイメージしやすくしました。【各 Lesson】</li> <li>●教科書準拠の<b>教師用指導書、指導者用デジタル教科書（教材）</b>の内容を<b>充実</b>させ、これらに<b>音声や映像</b>を用意することにより、<b>学級担任一人での指導</b>が安心して行えるようにします。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| ICT 活用                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウェブサイト「<b>まなびリンク</b>」を設け、紙面上の<b>二次元コード</b>を通じ、<b>音声や動画、写真、ワークシート</b>などの良質な<b>デジタルコンテンツ</b>を活用できるようにし、<b>学習への意欲</b>を高め、<b>学びを活性化</b>し、<b>確かなもの</b>にするように配慮しました。【全体】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <b>3. 組織・配列</b>            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 内容の組織・配列                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Lessonの冒頭に「<b>単元の目標</b>」を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、Lesson 末で単元の<b>目標に関連したやり取りや発表</b>をする構成にしました。学習の<b>見通し</b>を立て、<b>コミュニケーションの目的</b>を意識しつつ、Lesson 内の各活動を進めていけるように工夫しました。【各 Lesson】</li> <li>●Lessonは、映像を見ながら「<b>聞くこと</b>」を通した豊富な<b>インプット</b>から始め、音声のみでの「<b>聞くこと</b>」、歌やリズムに合わせた口慣らしを通して表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単な「<b>やり取り</b>」を経て、最後の活動で、伝えたい内容の表現例を「<b>読むこと</b>」から自分自身が伝えたい内容を「<b>書くこと</b>」、「話すこと〔やり取り・発表〕」というアウトプットへと展開する構成にしました。【各 Lesson】</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言語材料の組織・配列                | ●言語材料は、常に <b>言語活動と効果的に関連付けて扱い</b> 、獲得した知識や技能を <b>実際のコミュニケーションで活用</b> できるように構成しました。音声と文字、語、連語、慣用表現を <b>バランスよく取り上げ</b> 、 <b>繰り返し</b> 使用する場面を設けることで、定着を図れるように工夫しました。【全体】                                                                                   |
| 言語活動の組織・配列                | ●文構造や基本的な表現の定着を図る <b>コミュニケーション活動</b> を、段階を踏んで配列しました。Lesson では、 <b>聞くこと</b> から始め、発話してみる <b>やり取り</b> を経て、適宜、 <b>書いて整理</b> したうえで、 <b>やり取り・発表</b> をする構成にしました。【全体】                                                                                           |
| <b>4. 分量</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 扱う語数                      | ●学習指導要領の「600～700語程度」と、学習指導要領解説の「 <b>発信語彙と受容語彙の両方を含んだ語彙サイズ</b> 」に適合する語数を扱いました。教科書に掲載されている語数は、巻末の自己表現用語彙 My Word Bank を含め、6年で196語（3・4年生でふれてきたと想定される語を含む）です。【全体】<br>●My Word Bank は、 <b>児童にとって身近な語彙</b> を精選し、積極的な <b>自己表現</b> に寄与できるように構成しました。【pp.100-105】 |
| 各内容の分量の配分                 | ●全体として、分量は学習・指導上で無理がないように精選し、単元に合わせて分量を効果的に調整しました。【2学年全体】                                                                                                                                                                                               |
| 付録                        | ● <b>付録</b> として、豊富な内容を用意しました。ローマ字表・アルファベット表のほか、自己表現活動で利用できる語彙の補充のため、My Word Bank を設けています。また、 <b>絵カード、ワークシート</b> を収録しました。【pp.100-105、108、巻末】                                                                                                             |
| 全体の分量                     | ●指導時数のめやすとして、各 Lesson は7時間配当を基本とし、習得した内容を活用させる時間を十分に考慮したうえで67時間にしました。年間指導時数の <b>70時間内</b> で余裕をもって指導できます。【全体】                                                                                                                                            |
| <b>5. コミュニケーション</b>       |                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 言語の使用場面・言語の働き             | ●学校や家庭生活といった「児童の身近な暮らしに関わる場面」を中心とし、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるようにしました。【全体】                                                                                                                                                                          |
| 4技能・5領域のバランスや統合           | ●Lesson は、4技能・5領域の技能が <b>有機的につながった学習</b> を展開することができるように配慮しました。【各 Lesson】<br>●「読むこと」、「書くこと」については、 <b>慣れ親しませること</b> から始め、 <b>段階的に文字を読んだり書いたりし</b> 、 <b>系統性のある指導</b> ができるように配列しました。【全体】                                                                    |
| ペア・ワーク、グループ・ワーク           | ●Lesson 内にペアやグループで協力し合いながら取り組む Activity や Final Activity を設け、 <b>実際にコミュニケーション活動をする機会を豊富に取り入れ</b> 、よりよくコミュニケーションを取ろうとする姿勢を育成できるように配慮しました。【各 Lesson】                                                                                                      |
| <b>6. 造本・印刷／取り組み・教育配慮</b> |                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 挿絵・図版・写真等                 | ●児童の学習意欲を高めるもの、音声や英文の <b>内容の理解</b> を助けるものや、作品世界を生かし、児童の <b>想像力</b> を高めるイメージ豊かなものを掲載しました。【全体】<br>● <b>学習活動の様子をわかりやすく示した</b> もの等のほか、学習上必要なものを適所に取り上げました。【各 Lesson】                                                                                        |
| 活字の書体、4線等の扱い              | ●書くときの <b>アルファベットに近い形状の書体</b> を使用しました。 <b>4線</b> の上下幅の比率は、 <b>4：5：4</b> とし、書く練習もしやすいように配慮しました。日本語の書体も、読みやすい <b>ユニバーサルデザインフォント</b> を使用しました。【全体】                                                                                                          |
| 造本・印刷                     | ●表紙には、 <b>抗菌加工</b> をしています。【表紙】<br>● <b>美しいカラー印刷</b> で、鮮明です。用紙には <b>軽量の再生紙</b> を、印刷には <b>植物油インキ</b> を使用し、地球環境に配慮しました。【全体】<br>●製本は <b>堅牢</b> であり、 <b>長期間の使用に耐えられる</b> ものにしました。【全体】                                                                        |
| SDGs への取り組み               | ●現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、 <b>持続可能な社会</b> の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、 <b>SDGs</b> に取り組めるように工夫しました。【全体】                                                                                                          |
| ユニバーサルデザインへの配慮            | ●専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びやすさを保障する「 <b>ユニバーサルデザイン</b> 」の観点に立って編修しました。【全体】<br>●紙面全体、文字や図版については、 <b>色の組み合わせや濃淡の工夫</b> 、また <b>罫線や記号・番号、文字の補助</b> を施すなど色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすくしました。【全体】<br>●紙面でもデジタル画面でも見やすく、読みやすい <b>ユニバーサルデザインフォント</b> を使用しました。【全体】          |
| 人権教育・特別支援教育への配慮           | ●人権教育の専門家による校閲を受け、人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、 <b>ジェンダー</b> についても理解が深められるように配慮しました。【全体】<br>●特別支援教育の専門家による校閲を受け、 <b>シンプルな紙面構成と単元構成</b> で、学習内容がわかりやすくなるように配慮しました。また、紙面の中の視線の移動や各要素の縦横の混在についても、 <b>混乱を生じさせないように</b> 配慮しました。【全体】                                      |

## 2. 対照表



| 図書の<br>構成・内容<br>／該当箇所                         | 学習指導要領の内容             |                             |                 |         |                   |                 |         |           | 配当時数 |             |
|-----------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------|---------|-------------------|-----------------|---------|-----------|------|-------------|
|                                               | (1)<br>知識<br>及び<br>技能 | (2)<br>思考力・<br>判断力・<br>表現力等 | (3) 言語活動及び言語の働き |         |                   |                 |         |           |      |             |
|                                               |                       |                             | ① 言語活動          |         |                   |                 |         | ② 言語の働き   |      |             |
|                                               |                       |                             | ア<br>聞く         | イ<br>読む | ウ<br>話す<br>[やり取り] | エ<br>話す<br>[発表] | オ<br>書く | ア<br>使用場面 |      | イ<br>働き     |
| Lesson 1～5, 7～8 <sup>*1</sup>                 | ●                     | ●                           | ●               | ●       | ●                 | ●               | ●       | ●         | ●    | 49 (7 × 7)  |
| Lesson 6                                      | ●                     | ●                           | ●               | ●       | ●                 | ●               | ●       | ●         | ●    | 5           |
| Let's Start<br>Together 1～2 <sup>*2</sup>     | ●                     | ●                           | ●               | —       | ●                 | —               | —       | ●         | ●    | 2           |
| Let's Read and Act 1                          | ●                     | —                           | ●               | ●       | —                 | —               | —       | —         | —    | 0.5         |
| Let's Read and Act 2                          | ●                     | —                           | ●               | ●       | —                 | —               | ●       | —         | —    | 4           |
| Let's Look at the<br>World 1, 2 <sup>*1</sup> | ●                     | —                           | —               | —       | —                 | —               | —       | ●         | —    | 1 (0.5 × 2) |
| 知らない英語の言葉<br>に出会ったら                           | ●                     | —                           | —               | —       | —                 | —               | —       | —         | —    | 0.5         |
| Let's Enjoy the<br>Music                      | ●                     | —                           | ●               | —       | —                 | —               | —       | —         | —    |             |
| 各種 Jingle                                     | ●                     | ●                           | ●               | ●       | —                 | —               | —       | —         | —    |             |
| 計                                             |                       |                             |                 |         |                   |                 |         |           |      | 62          |

※1：各々で、(1)～(3)の内容を網羅。

※2：全体で、(1)～(3)の内容を網羅。

# 編修趣意書

## （発展的な学習内容の記述）

| 受理番号      | 学校        | 教科                 | 種目 | 学年   |
|-----------|-----------|--------------------|----|------|
| 104-176   | 小学校       | 外国語科               | 英語 | 第6学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名               |    |      |
| 17 教出     | 英語 615    | ONE WORLD Smiles 6 |    |      |

| ページ   | 記述                                  | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や<br>内容の取扱いに示す事項                                                                                                                                                                    | ページ数 |
|-------|-------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 66～69 | Read and Act 2<br>“The Letter”      | 2  | <p>小学校学習指導要領 外国語編<br/>2 内容<br/>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項<br/>エ 文および文構造</p> <p>※上記項目の中に、動詞 + ～ + to ... は含まれていませんが、物語の流れを追うための教材であることをふまえ、原文の通りに掲載しました。</p>                                             | 0.25 |
| 99    | 知らない英語の言葉に出<br>会ったら<br>3 和英辞典を使ってみる | 1  | <p>中学校学習指導要領 外国語編<br/>3 指導計画の作成と内容の取扱い<br/>(2) 内容の取扱い<br/>オ 辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること。</p> <p>※小学校学習指導要領 外国語編には辞書の使い方については扱いがありませんが、自らの考えや気持ちを伝える言語活動のために参照するページであることをふまえ、掲載しました。</p>               | 0.75 |
| 106   | Let's Enjoy the Music<br>“Smile”    | 2  | <p>小学校学習指導要領 外国語編<br/>2 内容<br/>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項<br/>エ 文および文構造</p> <p>※上記項目の中に、重文および複文、接続詞、進行形、助動詞を用いた未来表現、接触節、There + be 動詞 + ～ については含まれていませんが、歌のもつメッセージを鑑賞するための教材であることをふまえ、歌詞の通りに掲載しました。</p> | 1    |
| 合計    |                                     |    |                                                                                                                                                                                                  | 2    |

（備考）「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。

- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
- ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2